

平成27年度

東京都高等学校

新人リーグ戦兼新人選手権大会予選

期 日	平成27年11月1日(日)・3日(祝)
会 場	葛飾総合高校 他
主 催	東京都高等学校体育連盟 東京都バレーボール協会
主 管	東京都高体連バレーボール女子部

## < 大会参加上の注意事項 >

東京都高体連バレーボール女子部

1. 試合開始時刻は第1日・第2日目とも9時00分とする。
2. 第1日目・第2日目とも、8時50分までに、各チーム全員が集合し、代表者は必ず受付を済ませること。全員が集合しなかった場合や、受付をしなかった場合は、棄権したものとする。
3. メンバーの変更は、大会要項に記載された様式で、第1日目第1試合開始までに、会場主任に届け出ること。それ以降の変更はできない。様式の異なるものや監督印のないものは無効である。
4. 試合順序・審判当番は、組合せ表を見て、間違いの無いようにすること。審判当番校は、主審と副審（有資格者または同等の審判技術を有する者）、記録、線審、点示（よく慣れている者）を出すこと。
5. ユニフォームには、1～14までの番号を着けることが望ましい。監督・コーチ・マネージャー章を必ず左胸に着ける。
6. ベンチに入ることができるのは、エントリーされた選手14名と、監督・マネージャー・コーチの最大17名である。公式練習に参加できるのは、ベンチに入ることが許された最大17名である。
7. トスは、第1試合は9時00分に、第2試合以後は、試合開始前に行う。
8. 公式練習は、特に要求があった場合にのみ合同で行うが、それ以外はサーブ権をとったチームから、3分間ずつ行う。  
公式練習前に、キャプテンと監督は、記録用紙にサインを済ませること。
9. 審判部申し合わせ事項をよく守ること。特にスポーツマンシップに反する言動については、十分に注意すること。
10. 試合終了後、審判の合図で、一斉にあいさつをするので、さらに審判や相手ベンチにあいさつに行かないで、できるだけ早くベンチを次のチームが使えるようにする。
11. 会場校に迷惑をかけぬように、次のことに注意すること。違反したチームは、次の試合から参加させない。
  - ア 8時00分以前に、会場に行かぬこと。（必ず守ること）
  - イ 盗難、事故に関しては、各チームで充分注意すること。
  - ウ 体育館以外での練習は禁止する。体育館用の靴を必ず用意すること。体育館内にはいるときは、体育館用の靴に履きかえること。
  - エ 会場を汚さぬようにし、後始末や掃除を必ず行なってから帰ること。更衣室や校舎内外・トイレ等はきれいに使うこと。空ビン・空カンを持ち帰ること。
  - オ 会場校では、先生や先輩のスリッパは用意しない。各校で用意すること。
  - カ 駐車場が準備できないので車での上場は厳禁する。（特に応援の保護者、OBには各チームで徹底して欲しい）
  - キ その他、会場校の先生方や、会場主任、コート主任の注意を守ること。
12. その他、大会要項の参加上の注意事項をよく読んで、間違いの無いようにすること。
13. 8時00分から、8時50分までの練習は次のようにする。（エントリーしてある人だけで行うこと）

8：00～8：30	……ネットを使用しないで練習する。	
8：30～8：40	……アタック練習	}
8：40～8：50	……サーブ練習	

会場によって、多少違うことがあるので  
会場主任の指示に従って練習すること。
14. 第1位チームには優勝トロフィーを、3位までのチームには賞状を授与する。  
本大会の各組の第1、2位のチームは新人選手権大会に、第3、4位のチームは新人二部大会に出場することができる。

平成27年11月1日(日)・3日(祝)

東京都高体連バレーボール女子部

組	会 場	会場競技主任	A	B	C	D	E	F
1	深 川	西澤	深 川	日大鶴ヶ丘	南 葛 飾	筑波大附	篠 崎 崎	紅 葉 川
2	〃	〃	江 北	玉 川 聖	武 蔵 蔵	大妻中野	八 潮	共 立 女
3	桐 朋 女	吉川	桐 朋 女	忍 岡	山 崎 崎	多 摩 摩	昭 和	第 四 商
4	〃	〃	共 立 第 二	豊島岡女学	足 立	農 芸 芸	足 立 西	日 大 豊 山
5	王 子 総 合	稲葉	王 子 総 合	戸 山	石 神 井	東京純心女	富 士	
6	〃	〃	小 山 台	文 華 女	鶴 川	東大和南	久留米西	法政大学高
7	小 平	坂本	小 平	八 王 子	大 島 島	東	東洋大京北	昭 和 女 大 附
8	〃	横田	青 山 学 院	光 丘	国 際 際	鷗 友 学 園	三田国際学園	順 天
9	葛 飾 総 合	荒川	葛 飾 総 合	農 大 一	国立音大附	国 学 院	成 蹊 蹊	墨 田 川
10	〃	〃	東 京 成 徳	小 平 西	桜 美 林	杉 並 並	農 業 業	普 連 土
11	第 五 商	小林(朝)	第 五 商	青 山 山	大 成 成	修 徳 徳	実 践 女	田園調布学園
12	〃	大瀧	青 梅 総 合	成 立 立	上 野 学 園	秋 留 台	立正大付立正	大 田 桜 台
13	西	三品	西	竹 早	小 平 南	新 宿 宿	武 蔵 野	松 が 谷
14	〃	〃	杉 並 総 合	青 稜 稜	江 戸 川 女	豊 南 南	東 亜 学 園	錦 城 学 園
15	目 黒	幸村	目 黒	大 妻 多 摩	日 大 桜 丘	中 村 村	松 原 原	
16	〃	村田	中央学院中央	明学東村山	帝 京 京	聖 徳 学 園	晃 華 学 園	豊 島 学 院
17	清 瀬	三木	清 瀬	鷲 宮 宮	品川エトワール	両 国 国	三 田 田	貞 静 学 園
18	〃	〃	八 雲 学 園	蒲 田 女	白 梅 学 園	女 子 学 院	小 川 川	永 山 山
19	北 園	三浦	北 園	竹 台 台	豊 島 島	雙 葉 葉	成 城 学 園	明 星 星
20	〃	阿部	向 丘 丘	創 価 価	日 女 体 大 附	若 葉 総 合	跡 見 学 園	家 政 大 附
21	芦 花	関内	芦 花	豊 多 摩	山 脇 学 園	二 松 学 舎 大	白 鷗 鷗	小 岩 岩
22	〃	榎本	国 立 立	関 東 国 際	拝 島 島	大 東 文 化 一	三 輪 田 学 園	九 段 段
23	江 戸 川	川端	江 戸 川	国学院久我山	かえつ有明	明 中 八 王 子	東 洋 女 女	東 京 家 政
24	〃	〃	文 京 京	板 橋 橋	大 崎 崎	晴 海 総 合	葛 飾 野 野	第 三 商
25	練 馬	渡邊	練 馬	聖 心 女	立 川 ろ う	富 士 見 見	早 稲 田 実 業	神 代 代
26	〃	石川茂	中 大 杉 並	京 華 女	北 豊 島	村 田 女	駒 込 込	
27	大 森	小渡	大 森	南 平 平	板 橋 有 徳	中 央 大 附	正 則 則	東 京 電 機 大
28	〃	及川	芝 商 商	和 洋 九 段	富 士 見 丘	広 尾 尾	千 歳 丘	小 松 川
29	保 谷	堀畑	保 谷	拓 大 一	翔 陽 陽	広 尾 学 園	上 野 野	立 教 女
30	〃	楓	佼 成 学 園 女	吉 祥 女	中 央 ろ う	町 田 田	学 芸 大 附	府 中 西
31	杉 並 学 院	川村	杉 並 学 院	青 井 井	渋谷教育渋谷	潤 徳 徳	白 百 合 合	武 蔵 丘
32	〃	〃	多 摩 大 目 黒	昭 和 第 一	小 金 井 北	井 草 草	大 泉 泉	国 分 寺
33	葛 飾 商	江原	葛 飾 商	淵 江 江	お 茶 大 附	桜 修 館 館	東 洋 英 和	桜 蔭 蔭
34	〃	〃	日 大 一	錦 城 城	東 海 大 高 輪 台	府 中 東	田 無 無	文 教 大 付
35	調 布 南	吉村	調 布 南	大 妻 妻	八 王 子 桑 志	十 文 字	東 久 留 米 総 合	
36	〃	小林実	八 王 子 東	香 蘭 女	東 洋 洋	羽 村 村	神 津 津	立 川 川
37	成 瀬	丸山	成 瀬	国 際 基 督 教	日 大 二	淑 徳 巢 鴨	都・田園調布	日 大 三
38	〃	〃	野 津 田	東 京 朝 鮮	頌 栄 女	専 修 大 附	慶 応 女	工 学 院 大 附
39	千 早	坂口	千 早	上 水 水	目 白 研 心	深 沢 沢	南 多 摩	大 山 山
40	〃	勝山	学 習 院 女 子	世 田 谷 総 合	赤 羽 商	瑞 穂 農 芸	本 所 所	駒 場 学 園
41	東 大 和	神崎	東 大 和	東 京 女 学 館	昭 和 第 一 学 園	日 比 谷	福 生 生	雪 谷 谷
42	〃	〃	東 海 大 菅 生	桜 丘 丘	大 泉 桜	東 村 山 西	品 川 女	調 布 北
43	日 体 桜 華	星	日 体 桜 華	飛 鳥 鳥	富 士 森	大 森 学 園	町 田 総 合	
44	〃	〃	つばさ総合	淑 徳 徳	桜 町 町	安 田 学 園	小 石 川	府 中 中